

学校支援を積極的に進める

家庭・地域・学校が連携するPTA活動

知多市立新田小学校PTA

1 はじめに

本校区は、知多市の東に位置し、世帯数5,841世帯、人口13,704人（10月1日現在）が生活している。本校の児童数は659人で、中規模校である。また、市内でも珍しく一小一中の学区であり、児童は、中学校に進学しても幼いころから慣れ親しんだ仲間とともに学校生活を過ごすことになる。



【校舎を運動場から望む】

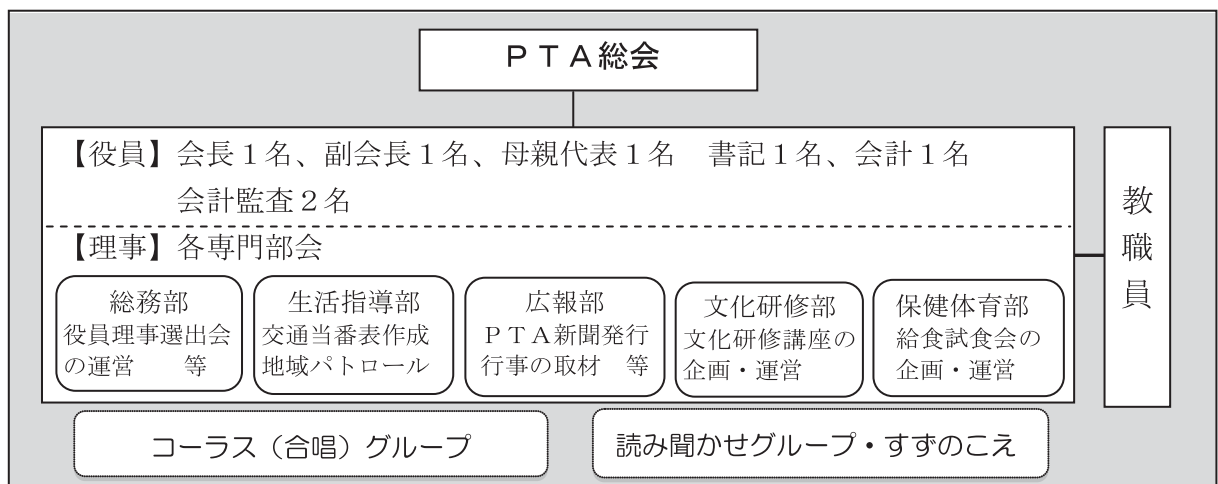
学校としての歴史は古く、130年前の資料も残っている。昭和中期頃より名鉄巽が丘駅の設置と連動して、本校南側の巽が丘地区で宅地開発が始まり、世帯数・児童数が増加してきた。現在の児童数は、約660名。地域の教育への関心は高く、家庭・地域が協力して学校の教育活動を支援している。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校PTAは、登校時の見守りなどを通して地域と協力しながら学校支援を行ってきた。昨年度からの新型コロナウイルス感染症対策や度重なる緊急事態宣言等により、これまで築いてきたPTA活動の活動内容や活動自体の在り方を見直さなければならない状況となった。そのような中でも、家庭・地域・学校が連携を図り、子どもたちを皆で育てていくという方針の下、PTAとしてどのような支援が可能かを模索し、活動を推し進めることが大切であると考えた。

(2) PTAの組織と主な活動



3 実践活動の概要

(1) 子どもの安全に関わる支援

① 登校時の交通当番

子どもたちが安心・安全に登校できるようにすることを目的として、0（ゼロ）の日に通学路の各ポイントで活動している。

生活指導部を中心に各地区の理事が当番表を作成する。割り当てられた日の朝、子どもたちの登校時間の20分程度の見守り活動をしている。

交通安全の見守りだけではなく、挨拶も交わし子どもたちに声をかけている。この0の日には、教員も当番を決め、PTAとともに交通指導をしている。

また、地域ボランティアとして「北巽わんわんパトロールの会」の皆さんが登下校時に、学校周辺の見通しの悪いところや信号のない横断歩道のポイントで見守りを行っている。ボランティアの皆さんからは、月に一度、報告書として子どもたちの様子を学校に教えていただいている。報告書には「子どもたちからいつも元気をもらっている」「いつもありがとうございます、と声をかけてくれる」などと子どもたちとの触れ合った様子が記載されている。

保護者・地域の方々に見守られ、子どもたちは安全に安心して登下校をすることができている。

② 通学路安全点検・夏休み安全パトロール・足型マークの補修

通学路の安全を守るため、各地区の理事が夏休みの安全パトロールを兼ねて通学路の点検をしている。生活指導部が点検結果をまとめ、学校でできる対策を検討したり、学校を通して行政の協力を要請したりしている。

また、通学路上の狭い路地に、足型マークが所々にあり、生活指導部員は、担当地区の足型マークの補修も行っている。この足型マークは「一旦、止まる」ことを意識させるために役立っている。

③ 交通安全教室の補助

毎年、本校では安全指導の一環として、4月に交通安全教室を行っている。これは子どもたちが正しい歩行の仕方を学ぶことをねらいとしている。学校周辺の歩行コースを歩く際に、生活指導部員が市の交通指導員の補助をしている。



【0の日 交通当番】



【1年と6年の交通安全教室】

この交通安全教室の補助を行うことにより、交通当番指導で安全な歩行の仕方について積極的に声かけができ、子どもたちの安全意識を高める一助となっている。

(2) 子どもの学校生活に関わる支援

① 給食試食会

子どもたちが日頃食べている給食に関して保護者に関心を高めてもらうための活動として、例年、1年生の保護者を対象に給食試食会を実施している。受付や全体会での司会、配膳の手伝いや給食後のアンケートなど、保健体育部が企画・運営を行っている。昨年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として実施ができなかったため1年生と2年生の保護者に対象を広げ、参加者を募集した。



【子どもと同じように配膳】

市給食センターの栄養教諭に給食における摂取量や献立を作る際の栄養価や食材についての講話を聞き、きちんと考えられている給食について理解を深める機会となっている。例年は、子どもたちの給食の様子を参観しているが、今年度は、現在、感染対策をとった配膳の仕方、黙食を行っているので、試食会でも子どもたちと同様な配膳、黙食を行った。参加した保護者からのアンケートには「子どもの話から聞いてはいたが、黙食を本当にしていることが分かった」「給食の栄養バランスのよさ、ありがたさが理解できた」「家庭でも給食のおかずを作ってみようと思う」「中学校以来の給食で懐かしかった」などの意見が書かれていた。食育やSDGsで関心も高まっている昨今、子どもたちの健康は「食」からという意識を高められる取組である。

② 読み聞かせの会「すずのこえ」

本校には、専門部会とは別に活動をしている読み聞かせグループ「すずのこえ」がある。隔週水曜日の朝の読書タイムの時間に順番に本の読み聞かせをしている。季節や伝統行事の時期に合わせた話や自然現象に関わる話などバラエティに富んでおり、子どもたちも毎回とても楽しみにしている。会員の思い入れは強く、6年生の卒業が近づいてくると子どもたちの成長をともに喜び、3月上旬には、「卒業お祝い読み聞かせ」を実施している。大型紙芝居やBGMの生演奏など趣向を凝らした小学校生活最後にふさわしい内容になっている。



【読み聞かせの様子】

(3) 保護者・地域のつながりを深める活動

① 文化研修講座

文化研修部が年に一度、企画・運営している。昨年度は、感染症拡大防止のため実施できるか危ぶまれたが、部会で検討した結果、知多市の地場産業として継承されている「知多木綿」を使った「手作りマスクづくり」を行うことができた。講師として、知多市内



【手作りマスクづくり講座】

で活動が続けている「木綿蔵」の方を招聘した。感染対策として、人数制限、座席の配置等の工夫や配慮をしながらの実施となった。対面での久しぶりのPTAの行事に、参加者同士で子どもたちの様子が話題の中心となり、自然に情報交換がされていた。

今年度は、ヨガインストラクターをされている本校PTA会員の方に講師の依頼をし、ヨガ教室を開催した。ヒーリング効果のある語りとBGMで心と身体が癒やされた時間となった。

② 学校支援ボランティア

知多市生涯学習課に登録されているボランティアと連携し、学校の教育活動に関わりのあることに参加していただいている。ボランティアとして紹介していただくのは、卒業生、保護者、祖父母等、地域在住等、本校に関わりのある方々である。学校からの要望に応じ、生涯学習課から紹介や、生涯学習地域推進委員の働きかけによって参加していただいている。活動内容としては、夏休みに学校図書館の蔵書点検や新刊の受け入れ作業や本の修復などを行っている。他には、校外学習の際の交通安全の見守り、家庭科のミシン実習での補助などにも参加している。



【図書ボランティアの様子】

4 おわりに

コロナ禍の中、学校行事、PTA活動等のすべてが制限のある中での活動となった。しかし、保護者や地域の方々との理解と協力があり、感染症対策を徹底、配慮しながらこれまでの定着してきた活動を可能な範囲で実施することができた。これまでに行われてきたPTA活動はその時々学校のニーズに合わせて育まれてきた活動であり、必要性を感じるものである。

PTAの役割でもある家庭・地域・学校との連携を図っていく大切さを強く感じるとともに、それぞれに負担がかからないように、現在必要とされる活動を精選していきたい。今後もPTAの活動の充実・発展を図り、学校のよきパートナーとして子どもたちの健やかな成長を支えていきたい。